

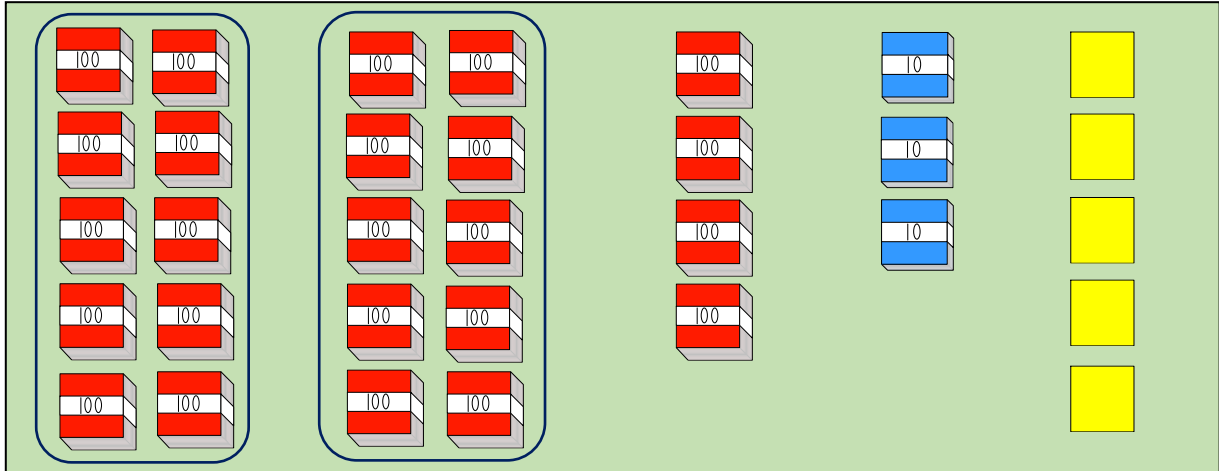


模範解答

( )年( )組( )ばん

名前( )

1 まゆみさんは、<sup>がみ</sup>おり紙が<sup>なん</sup>何まいあるか <sup>めい</sup>つぎの ように <sup>めい</sup>せつ明 しました。  
□に <sup>かず</sup>はいる <sup>か</sup>数を <sup>めい</sup>書きましよう。



まゆみ

(まゆみさんの せつ明)

100の まとまりが ぜんぶで **24** こ あります。

100の まとまりが 10こで **1000** に なるので

1000の まとまりは **2** こ できます。

1000が **2** こ、100が **4** こ、10が3こ、1が5こ

だから、おり紙の 数は ぜんぶで **2435** まい です。

2 三千七百八十一を <sup>すうじ</sup>数字で 書きましよう。

**3781**

3 1000を 4こ、100を 9こ、10を 6こ、1を 2こ  
あわせた 数を 書きましよう。

**4962**

4 5780の 千のくらの 数字は いくつでしょうか。

**5**



模範解答

( )年 ( )組 ( )ばん

名前 ( )

- 1 カードを <sup>かず</sup>ならべて、<sup>かず</sup>数を <sup>あらわ</sup>あらわしました。  
 それぞれの <sup>すうじ</sup>くらいに <sup>か</sup>数字を <sup>か</sup>書きましょう。

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">1000</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">1000</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">1000</td></tr> </table>	1000	1000	1000	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">100</td><td style="padding: 2px;">100</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">100</td><td style="padding: 2px;">100</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">100</td><td style="padding: 2px;">100</td></tr> </table>	100	100	100	100	100	100		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">1</td><td style="padding: 2px;">1</td><td style="padding: 2px;">1</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">1</td><td style="padding: 2px;">1</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">1</td><td style="padding: 2px;">1</td><td></td></tr> </table>	1	1	1	1	1		1	1	
1000																					
1000																					
1000																					
100	100																				
100	100																				
100	100																				
1	1	1																			
1	1																				
1	1																				
千のくらい	百のくらい	十のくらい	一のくらい																		
3	6	0	7																		

- 2 つぎの 文を <sup>しき</sup>しきに <sup>あらわ</sup>あらわしましょう。

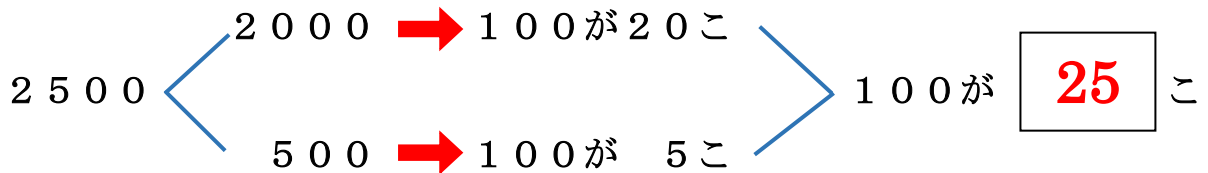
(1) 7000と 50を <sup>あわ</sup>あわせた <sup>かず</sup>数は、7050です。

$$\boxed{7000} + \boxed{50} = 7050$$

(2) 4028は、4000と 20と 8を <sup>あわ</sup>あわせた <sup>かず</sup>数です。

$$4028 = \boxed{4000} + \boxed{20} + \boxed{8}$$

- 3 2500は、100を <sup>なん</sup>何こ <sup>あつ</sup>あつめた <sup>かず</sup>数か <sup>つぎ</sup>つぎの <sup>かんが</sup>ように <sup>かんが</sup>考えました。  
 □に <sup>こた</sup>はいる <sup>かず</sup>数を <sup>こた</sup>答えましょう。



- 4 つぎの もんだいに <sup>こた</sup>答えましょう。

(1) 100を 28こ <sup>あつ</sup>あつめた <sup>かず</sup>数は <sup>いくつ</sup>いくつですか。

$$\boxed{2800}$$

(2) 9600は、100を <sup>なん</sup>何こ <sup>あつ</sup>あつめた <sup>かず</sup>数ですか。

$$\boxed{96\text{こ}}$$

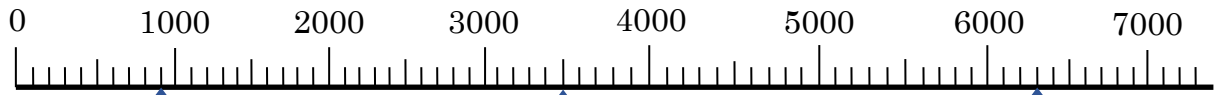


模範解答

( )年( )組( )ばん

名前( )

1 下の <sup>かず</sup>数の線 <sup>せん</sup>を見て <sup>こた</sup>答えましょう。



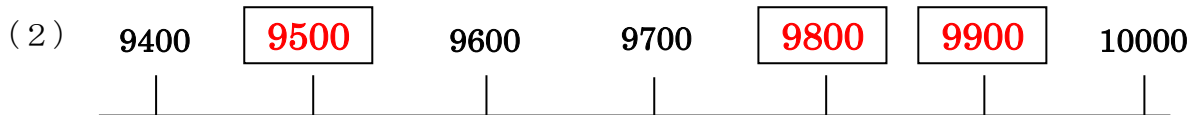
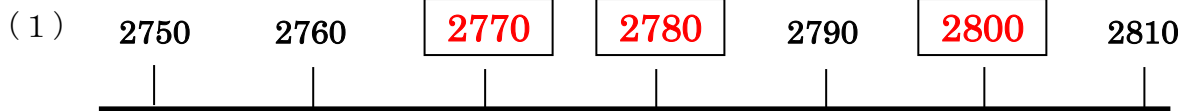
- ア **900**      イ **3500**      ウ **6300**

(1) 1めもりの 大きさは いくつですか。

**100**

(2) 上の 数の線の ア、イ、ウの □に  
あてはまる 数を <sup>か</sup>書きましょう。

2 □に あてはまる 数を 書きましょう。



3 □に あてはまる > か < を 書きましょう。

(1) 5000 **>** 4990      (2) 9879 **<** 9916

4 10000は、100を <sup>なん</sup>何こ あつめた 数ですか。

**100こ**

5 9900は、あと いくつで 10000に なりますか。

**100**



模範解答

( )年( )組( )ばん

名前( )

1 つぎの <sup>けいさん</sup>計算を しましょう。

(1)  $600 + 800$

(2)  $900 - 400$

(3)  $1000 - 300$

1400

500

700

2 4けたの <sup>かず</sup>数が <sup>か</sup>書かれた カードが 2まい あります。

しかし、㊦の カードに 書かれた 数の 百のくらのい の 数が 見えません。

㊧の カードに 書かれた 数と、㊦の カードに 書かれた 数の <sup>めい</sup>どちらが 大きいか せつ明 しましょう。

㊧ 6047

㊦ 6\*52

㊦ の カードに 書かれた 数の ほうが 大きいです。  
 りゆうは、㊦の カードの 百のくらのい の 数に、いちばん  
 小さい 数の 0が はいっても、㊦の カードに  
 書かれた 数の ほうが ㊧より 大きいからです。(例)

3 4700が どんな 数か、いろいろな <sup>みかた</sup>見方で <sup>かんが</sup>考えました。

(1) りくさんの 考えと えみさんの 考えの □に あてはまる 数を 書きましょう。

(りくさんの 考え)  
 4700は、  
 5000より **300**  
 小さい 数です。

(2) しおりさんの 考えを しきに あらわすと

$4700 = 4000 + 700$

となりました。  
 しおりさんの 考えを せつ明 しましょう。

(えみさんの 考え)  
 4700は、  
 100を **47** こ  
 あつめた 数です。

(しおりさんの 考え)  
 4700は、4000と 700を  
 あわせた 数です。(例)